

みちのく潮風トレイル鹿狼山

山行日 :2023年 6月19日(月) ~ 20日(火) 晴れ

費用 : 一人当たり 11,000円 (テント泊、交通費他)

参加者 : CL :T SL:M 他4名 合計6名

行程 : 1日目 浪江町 (浪江駅、道の駅なみえ、震災遺構請戸小学校、大平霊園)

双葉町 (産業交流センター、原子力災害伝承館)

2日目 鹿狼山登山

<感想文>

皆さん二日間の大変楽しい行程大変お疲れ様でした。私は 3.11 震災 2 年後に米国からの視察団をお迎えし、被災地視察を行いました。日米延べ 50 名の参加者で大船渡市、隅田町を訪れた目的は被災者の仮設住宅、その暮らしを知るためでした。しかしながら当時の状況はあまりにも悲惨であり写真はほとんど撮ることができませんでした。今回は震災後 12 年目の浪江町、双葉町の復興の進捗状況を再度見ることができました。しかしながらまだまだ国土強靱化政策は道半ば。ありのままの復興状態を見ることができました。(O)



高校以来のテント泊と、美味しいBBQ、夜中には綺麗な天の川も見られました。鹿狼山からの見晴らしも素晴らしく、鹿狼の湯もとても良い温泉でした。しかし、震災、原発災害の爪痕は12年経ってもまだまだ残っていました。多分消えることはないでしょう。この現状から、原子力発電をさらに進めるといふ自信は何処から来るのでしょうか？ 浪江町、双葉町を訪ねて益々その思いを強くしました。色々考える事が出来た山行でした。皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。(M)



請戸小学校の被害状況を見学。あまりの悲惨さに涙がでてしまいました。館内での閲覧用の本を読み改めて基本の大切さを痛切に感じました。先生達の日頃の訓練からの確実に避難出来たこと。一人の少年の道案内で山に登る道がわかったこと。

大川小学校と大きく明暗を分けた理由。などなど少しでも多くの人達に見学して考えて頂けたらと思いました。何年ぶりかの夜のキャンプはとても楽しいものでした。若者のようにみんなテキパキ動き、たらふく食べた BBQ、やみつきになりそうです。みなさんありがとうございました。(Y)

私は、文章を書くのは、苦手ですが、子供達が全員助かったことが救いです。あの小学校をみたとき身体が震えました。

他の地域の方達のことを思うと胸が痛みます。まだまだ復興しているとは、思えない状況と感じました。今回、お誘い頂き伝書館等見学でき、なかなか行けそうでいけないので良かったです。ありがとうございました(T)



今回のみちのく潮風トレイルは浪江町の震災遺構請戸小学校、双葉町の東日本大震災原子力災害伝承館を見学した。請戸小学校は三階建建物の外観とは対照的に中は悲惨な有様でした。展示されている物、避難の状況が時系列で分かりやすく説明されていて当時の緊迫感が伝わってきました。一方、伝承館は立派な建築物であるが悲惨さは感じられなかった。当日夜のキャンプ、翌日の鹿狼山は十分に楽しみました。(M)

